

60th
KAWASAKI

宮城県
川崎町

緑と人を
はぐくむ里

川崎町

川崎町章



この町章は、川崎の川を三重丸で表し、円は町民円満と団結の強さを示し、町の中心部を流れる北川、前川、太郎川の三大河川を表徴したものである。

(昭和39年7月1日制定)

町民憲章

1. 健康に心がけ、清潔で美しいまちをつくります。
1. 互いにきまりを守り、明るく住みよいまちをつくります。
1. 親愛の情を持ち、みんなで助け合うまちをつくります。
1. 生産にはげみ、ゆたかなまちをつくります。
1. 教養を高め、すぐれた文化のまちをつくります。

(昭和55年10月1日制定)

町の鳥/キジ



(昭和55年10月1日制定)

町の花/シャクナゲ



(昭和55年10月1日制定)

町の獣/カモシカ



(昭和55年10月1日制定)

町の木/ドウダン



(昭和55年10月1日制定)

昭和30年4月、川崎町と富岡村が合併し、新制川崎町が誕生してから、60年を迎えることとなりました。

蔵王のふもと豊かな自然の中で、町を発展させるべくご尽力された先人たちに感謝しながら、未来に向けた記念すべき年を、町民の皆様と心から喜びたいと存じます。

この60年を振り返りますと、繁栄の時代があれば、流れが停滞するときもありました。また、暗雲が立ち込め、まるで嵐が荒れ狂うような事態もありました。

しかし、どのようなときも本町が発展し続けてきたのは、先人たちの英知とたゆまぬ努力によるものであります。

本誌では、本町のこれまでの歩みを主な出来事と写真で紹介しております。

懐かしい時代に再会されると同時に、本町の素晴らしさを再認識していただけたら幸いに存じます。

これらかも、この町に生まれ、育ち、ここで暮らす人々が、夢と希望を持って将来に向かって豊かな生活が送れるよう、町民の皆様とともに努力してゆく覚悟でございます。

最後になりますが、皆様のご多幸とご健勝をお祈り申し上げご挨拶いたします。



川崎町長 小山修作

1955~1964

【昭和30年~昭和39年】

新制川崎町の誕生



富岡村廃庁式



昭和30年 合併調印式

川崎町 60 年の あゆみ

昭和30~39年 川崎町の動き

1955 昭和30年 人口：13636人

3月 合併調印式(柴田地方事務所長室)

4月 川崎町と富岡村支倉地区が合併

川崎小学校で開庁式と記念式典挙行

町長職務執行者に富田廣重就任

合併後初議会 初代議長に戸田勇蔵就任

5月 初代町長に丹野丹治就任

9月 青根簡易水道事業給水開始

1956 昭和31年 人口：13810人

3月 町議会議員の選挙区並びに各選挙区において選挙すべき議員の数に関する条例を制定、次の一般選挙により選出された議員の任期中に限り適用、川崎町第一選挙区21人、川崎町第二選挙区5人

4月 第2代議長に大宮起夫就任

1957 昭和32年 人口：13836人

7月 第3代議長に佐藤勇光就任

12月 大字支倉境界変更調定案受諾

1958 昭和33年 人口：13893人

2月 支倉地内境界変更住民投票実施

男 359人(356人)

女 404人(404人) (内は投票者数)

3月 碓石、富岡線県道告示

4月 国保診療所より川崎病院と改名

5月 湯坪地区に電気導入

7月 四ヶ銘山地区に電気導入

川崎町都市計画決定(建告第1284号)

- 昭和30年 ●初の原水爆禁止世界大会、広島で開催
- 昭和31年 ●経済白書で「もはや戦後ではない」と規定
- 昭和32年 ●南極観測隊、昭和基地を建設
●ソ連、世界最初の人工衛星スプートニク1号打ち上げ成功
- 昭和33年 ●米国、人工衛星打ち上げ成功
- 昭和34年 ●皇太子(天皇陛下)結婚パレード
●ソ連、宇宙ロケットが月面に到着
- 昭和35年 ●日米新安保条約・行政協定調印
- 昭和36年 ●イタイタイ病のガドミウム原因説発表
- 昭和37年 ●国産第1号研究用原子炉点火
- 昭和38年 ●大蔵省、新千円札を発行
●ケネディ米大統領暗殺される
- 昭和39年 ●日本、国際通貨基金(IMF)8条国に移行
●東海道新幹線営業開始
●東京オリンピック開会



昭和39年
柴田農林高等学校川崎分校、全日制分校として認可

今から126年前の明治22年、前川・今宿・小野・川内・本砂金の5カ村が合併し川崎村となり、支倉・菅生の2つの村が合併し富岡村が誕生しました。

昭和23年に町制が施行され、川崎村は川崎町となりました。当時の人口は10,287人、戸数は1,678戸でした。昭和29年に市町村合併促進法が施行されると、川崎町と旧富岡村との合併の準備が進められ、昭和30年4月20日、川崎町と富岡村支倉地区とが合併し、新制川崎町が誕生しました。人口は13,636人、戸数は2,118戸でした。

昭和36年 六方山の山火事



川崎町60年のあゆみ

9月	名譽町民に富田廣重(第1号)を推挙	9月	川崎町商工会設立(法律による) 支倉末沢地区5戸に電気導入	1961 昭和36年	人口:13444人	5月	第2代町長に佐藤佐之助就任	1959 昭和34年	人口:13954人
4月	柴田農林高等学校川崎分校全日制の分校として認可 校舎増築完成	4月	川内分校 川内小学校として独立	1962 昭和37年	人口:13346人	8月	町議会議員定数を20人と議決、次の選挙から実施		
9月	第6代議長に吉田富吉就任 広報かわさき創刊号発行	11月	蔵王エコーライン開通	1963 昭和38年	人口:12586人	10月	地方再建促進特別措置法の適用を受ける(昭和34年度から39年度まで) 仙台商川崎間の直通バス開通		
3月	青根分校校舎完成	4月	第5代議長に佐藤房実就任	1964 昭和39年	人口:12541人				
5月	第3代町長に丹野丹治就任					3月	支倉字柳挽、道海など村田町に編入 面積0.54平方キロ、戸数18戸、人口133人		
8月	蔵王連峰が国定公園の指定を受ける					4月	野上分校 川崎第二小学校として独立		
11月	老人クラブ結成 豪雪地帯の指定を受ける					5月	野上地区に集団赤痢発生、真性患者23人、保菌者123人、川崎病院に隔離		

1965~1974

【昭和40年~昭和49年】

釜房ダムの完成や生活基盤の整備

昭和40年代に入ると釜房ダムの工事が始まり、4年の歳月を経て完成の時を迎えました。

ダムの建設により水没した面積は、約408ヘクタールで、181世帯1,103人の方々が移転に協力してくれました。ダムの完成により洪水の被害が減り渇水時にも水不足から人々の暮らしが守ることができるようになりました。

昭和45年には仙台、川崎、山形を結ぶ県道が国道に昇格し、道路整備網に弾みがつくなど、生活基盤の整備が着々と進められていきました。



昭和40年 川崎小学校で完全給食開始

昭和40~49年 川崎町の動き

1965 昭和40年 人口：12343人

3月 農業協同組合(川崎・富岡)合併

川崎小学校給食調理室完成

4月 川崎小学校完全給食実施

5月 柴田農林高等学校川崎分校校舎増築完成

10月 野上分館完成

12月 碓石地区県道舗装完成

小野町の舗装完成

腹帯分校集会室完成

1969 昭和44年 人口：10968人

1月 川崎~本砂金間のバス運行開始(仙南バス)

3月 農村集団自動電話開通

簡易ゴミ焼却炉完成(川内地区)

8月 成人式をこの年から8月15日に開催

9月 碓石小学校プール完成

11月 民俗資料家屋復元完成

1970 昭和45年 人口：10795人

1月 釜房ダム湛水式



昭和45年 釜房ダムが完成

- 昭和40年 ●ソ連宇宙船ヴォスホート2号のレオノフ飛行士、初の宇宙遊泳
- 昭和41年 ●ビートルズ日本武道館で公演
- 昭和42年 ●中東戦争開始
- 昭和43年 ●十勝沖地震
- 昭和44年 ●東名高速道路開通
●米、アポロ11号、人類初の月面着陸に成功
- 昭和45年 ●国産初の人工衛星「おおすみ」打ち上げ成功
●日本万国博覧会開催
- 昭和47年 ●札幌冬季オリンピック開幕
●日中共同声明発表日中国交回復
- 昭和48年 ●円変動相場制に移行、円急騰
●OPECの6か国石油値上げ、石油危機深刻化
- 昭和49年 ●日韓大陸棚協定調印
●原子力船むつ、放射能もれ事故



昭和46年 公民館完成



昭和48年
患者輸送バス運行開始

川崎町60年の あゆみ

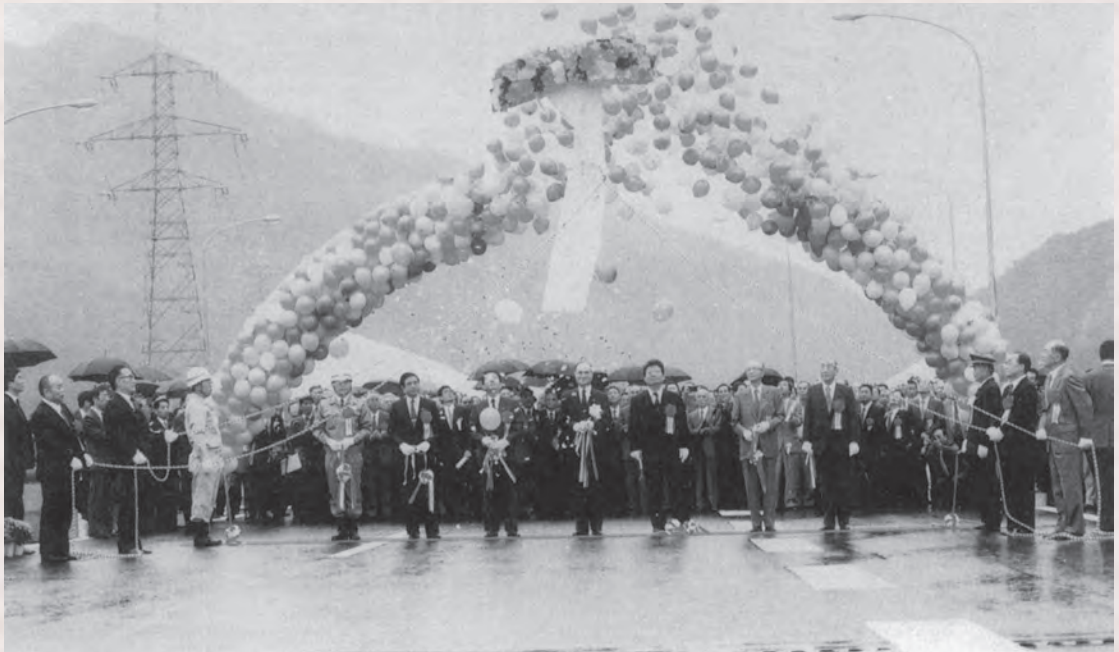
3月	町簡易水道完成7月供用 青根ゴミ焼却炉完成 火葬場完成(龍雲寺墓地内) 役場新庁舎完成(5月より執務)	1966	昭和41年	人口:12187人											
6月	川崎第二小学校屋内体育館完成 古閑分館完成	7月	釜房ダム工事起工	8月	胃カメラ撮影がん検診開始	10月	第1回町民親睦体育祭開催	12月	支倉小学校校舎・体育館完成	1967	昭和42年	人口:12046人			
2月	支倉巡査駐在所新築完成	4月	碓石分校移転 新校舎完成 本砂金分校 本砂金小学校として独立	5月	第4代町長に齋藤忠夫就任 名誉町民に丹野丹治(第2号)、佐藤佐之助(第3号)を推挙 町史編纂開始	7月	第7代議長に熊谷米吉就任 川崎遠刈田線県道昇格	8月	柴田農林高等学校川崎分校軟式野球部が全国大会に出場	9月	川内小学校体育館完成 本砂金診療所開所	12月	1968	昭和43年	人口:11177人
3月	川崎小学校小野分校・小松倉分校・支倉小学校小沢分校ダム建設により廃校	4月	碓石分校 碓石小学校として独立 第8代議長に佐藤勇光就任	5月	議会広報創刊号を発刊	6月	碓石簡易水道給水開始	7月	降雹により前川東西・古閑・立野地区の農作物に甚大な被害	10月	第9代議長に吉田富吉就任	11月	城山公園(近隣公園)計画決定 川崎中学校プール完成	12月	国保川崎病院新施設で診療開始(鉄筋コンクリート3階建、ベット数150床)
2月	米の生産調整目標が決定	3月	釜房ダム完成により釜房大橋の渡橋式 大針分館完成	4月	仙台・川崎・山形間の県道が国道286号に昇格 本砂金小学校完全給食実施	6月	釜房ダム落成式	8月	仙南地域広域行政事務組合設立(加盟は47年) 支倉常長生誕400年法要(円福寺)	11月	1971	昭和46年	人口:10674人		
1月	前川分校校舎・集会室完成	2月	立野生活改善センター完成	4月	仙南地域広域行政事務組合大河原消防署川崎出張所設置	5月	第10代議長に植野次男就任 支倉小学校プール完成	8月	川崎第二小学校プール完成	9月	川崎町史料編発行	1972	昭和47年	人口:10714人	
3月	山村振興の指定を受ける(第1期)	4月	柴田農林高等学校川崎分校1学級増	5月	患者輸送バス運行開始	8月	釜房ダム周辺自然環境保全地域の指定を受ける 川崎小学校プール完成	1974	昭和49年	人口:10850人					
2月	自動電話(ダイヤル)に切替	5月	川崎町観光協会設立 青根第2簡易水道給水開始 本砂金分館完成	10月	荒羽賀生活改善センター完成	11月	川崎中学校体育館完成	12月	公共下水道事業財政援助覚書締結						

1975~1984

【昭和50年~59年】

仙台と山形間を最短距離で結ぶ 笹谷トンネルが開通

昭和53年6月に発生した宮城県沖地震では、川崎町も家屋や道路、各施設などに大きな被害を受け、被害総額は4億1千万円となりました。町と地域、町民が一体となって復興が進む中、昭和56年4月、着工以来7年の歳月を経て笹谷トンネルが開通しました。このトンネルの開通により仙台と山形が最短距離で結ばれて、多くの人々が利用することになり、千年の歴史を刻む笹谷街道に、新たな1ページが加わりました。



昭和56年
笹谷トンネルが開通

昭和50~59年 川崎町の動き

1975 昭和50年 人口：10850人

- 4月 下水道事業始まる
- 川崎町史通史編発行
- 5月 第6代町長に斎藤忠夫就任(3期目)
- 9月 笹谷すい道貫通
- 10月 川内小学校プール完成
- 12月 川崎中学校新校舎完成

1976 昭和51年 人口：10761人

- 1月 第1回書初め大会
- 3月 「逆銀杏」県指定天然記念物となる
- 4月 第11代議長に丹野正人就任
- 5月 笹谷地区で火災7戸焼失
- 6月 「滝前不動のフジ」国指定天然記念物となる
- 10月 仙台市、川崎町広域行政連絡協議会設立

1977 昭和52年 人口：10786人

- 8月 本砂金小学校プール完成
- 青根温泉ホーリング掘削
- 9月 湯坪遺跡発掘調査

1978 昭和53年 人口：10792人

- 3月 川崎町新長期総合計画、基本構想策定(改定)
- 6月 宮城県沖地震が発生 M7.4 川崎町で震度6弱を記録(被害甚大)
- 10月 釜房湖畔公園開園

1979 昭和54年 人口：10779人

- 3月 川崎小学校校体育館完成
- 4月 地籍調査事業開始
- 5月 第7代町長に大浪正志就任
- 9月 町内各小学校で週二回米飯給食(弁当持参)スタート
- 10月 第一回農林業祭開催
- 12月 仙台市と水の振替調印
- 天神地区生活改善センター完成

1980 昭和55年 人口：10841人

- 4月 今宿保育所(すずらん園)開所
- 第12代議長に空戸基平就任

- 昭和50年 ●スエズ運河、8年ぶり再開
- 昭和51年 ●ロッキード献金事件表面化、田中角栄前首相逮捕
- 昭和52年 ●日本初の静止衛星「きく2号」打上げ
●北海道・有珠山34年ぶりに大噴火
- 昭和53年 ●探検家植村直己、北極点到達
●新東京国際空港(成田)開港
- 昭和54年 ●東京で先進国首脳会議(東京サミット)
- 昭和55年 ●イラン・イラク全面戦争に突入
- 昭和56年 ●沖縄でヤンバルクイナ発見
- 昭和57年 ●ホテルニュージャパン火災
●東北新幹線開業、上越新幹線開業
- 昭和58年 ●日本海中部地震
●三宅島21年ぶりの大噴火
- 昭和59年 ●江崎グリコ社長誘拐事件発生
●ロサンゼルスオリンピック開幕



昭和59年 B&G川崎海洋センターが完成



昭和53年 宮城県沖地震が発生



川崎町60年の あゆみ

7月	川崎町・秋保町・広域行政連絡協議会設立	1981	昭和56年	人口：10896人
8月	腹帯簡易水道事業給水開始	11月	古賀政男歌碑建立	
11月	町村合併25周年記念式典挙行 町民憲章、町花、町木、町鳥、町獣、町民歌・川崎音頭披露(10月1日制定)			
4月	川崎幼稚園開園 笹谷トンネル開通	10月	大河原消防署川崎出張所に救急車配置 山村開発センター完成	1982
3月	前川東部地区集落センター完成	12月	川崎小学校笹谷分校校舎完成	昭和57年
10月	台風18号により町内各地で被害拡大		国営みちのく杜の湖畔公園都市計画審議会で国営公園区域承認	人口：10989人
3月	支倉上地区集落センター完成	1983	昭和58年	人口：11007人
4月	支倉台上水道事業給水開始	5月	第8代町長に大浪正志就任(2期目)	
4月	第13代議長に佐口武雄就任 センチュリータウン支倉台の販売開始	1984	昭和59年	人口：11073人
8月	B&G川崎海洋センター完成	10月	国営みちのく杜の湖畔公園起工式	
12月	東北横断自動車道起工式			

1985~1994

【昭和60年~平成6年】

国営みちのく杜の湖畔公園が開園

平成の幕開けとともに、川崎町にも新しい風が吹き始めました。平成元年には釜房ダム湖畔に、東北初の国営みちのく杜の湖畔公園が開園しました。また、平成2年の冬にはスキー場が完成しみやぎ蔵王セントメリースキー場としてオープンしました。高速道路と立体交差している独特なゲレンデコースが話題となり、多くのスキー客でにぎわいました。これらの公園やスキー場を観光やレクリエーション施設の拠点とし、地域活性化が展開されました。



平成元年 国営みちのく杜の湖畔公園が開園

昭和60~平成6年 川崎町の動き

1985 昭和60年 人口…11152人

- 1月 川崎第二小学校校舎完成
- 7月 釜房環境浄化センター通水開始
本砂金地「区簡易水道通水」
- 10月 環境衛生センター（し尿処理）完成

1986 昭和61年 人口…11188人

- 3月 川崎町長老に斎藤忠夫（第1号）を推挙
- 4月 第14代議長に佐々木丈作就任



平成2年 みやぎ蔵王セントメリースキー場が完成



1991 平成3年 人口…11046人

- 10月 山形自動車道宮城川崎JC~笹谷IC（11.9キロ）開通
- 11月 古閑橋開通
- 12月 立野~轟川橋開通
第三セクター方式で建設の笹谷スキー場「セントメリ」完成

1991 平成3年 人口…11046人

- 3月 富岡中学校プール完成
- 5月 第10代町長に大浪正志就任（4期目）

- 昭和60年 ●日航ジャンボ機墜落
- 昭和61年 ●伊豆大島・三原山が209年ぶりに大噴火、島民全員避難
- 昭和63年 ●世界最長の青函トンネル開業
- 東京ドームが落成
- 平成元年 ●昭和天皇逝去、皇太子殿下即位。元号「平成」に
- 消費税スタート(3%)
- 平成2年 ●秋山豊寛氏が日本人初宇宙飛行
- 東西ドイツ統一
- ソ連、ゴルバチョフ初代大統領就任
- 平成3年 ●雲仙普賢岳が噴火
- 平成4年 ●山形新幹線「つばさ」運行開始
- スペースシャトル「エンデバー」に毛利衛氏搭乗
- 平成5年 ●Jリーグ開幕
- 皇太子殿下と小和田雅子さんご成婚
- 北海道南西沖地震

平成3年 第1回全国縦断市民駅伝みちのく大会



平成4年
第3回全国「みどりの愛護」
のつどい

川崎町60年の あゆみ

- | | | | | | | | | |
|---|--|---|--|--|--|---|--|---|
| <p>8月 小野分館完成</p> <p>11月 川内小学校校舎完成</p> <p>12月 国道286号川崎・小野・碓石バイパス開通</p> | <p>1987 昭和62年 人口：11222人</p> <p>1月 川内三分館完成</p> <p>5月 第9代町長に大浪正志就任(3期目)</p> <p>7月 川崎町総合運動場完成</p> <p>9月 海洋センターB&G財団より譲渡</p> <p>12月 町道碓石〜秋保線、碓石橋完成</p> <p>12月 青根分校体育館完成</p> | <p>1988 昭和63年 人口：11168人</p> <p>1月 川崎保育所新築移転</p> <p>3月 本砂金集落センター完成</p> <p>4月 第15代議長に丹野昭治就任</p> <p>役場西庁舎完成</p> <p>10月 山形自動車道村田JCT〜宮城川崎IC(10.4キロ)開通</p> <p>12月 笹谷スキー場、北蔵王笹谷合開発(株)設立</p> | <p>1989 昭和64年(平成元年) 人口：11072人</p> <p>1月 音無山村広場完成</p> <p>3月 本砂金小学校校舎改築完成</p> <p>5月 川崎中央商店街、青根温泉に街路灯を設置</p> <p>8月 国営みちのく杜の湖畔公園(文化と水のゾーン)が開園</p> <p>東北総合体育大会山岳競技大会が北蔵王及び釜房山東壁で開催</p> <p>10月 古賀政男顕彰会(明治大学マンドリンクラブが来町し演奏)</p> <p>11月 市町村制施行100周年記念式典挙行</p> | <p>1990 平成2年 人口：11046人</p> <p>2月 本砂金小学校体育館完成</p> <p>3月 前川小学校新校舎・体育館・プール完成</p> <p>川崎小学校腹帯分校閉校</p> <p>4月 青根分校が前川小学校の分校となる</p> <p>8月 第34回全国高校総体登山競技大会(蔵王山系開催)東北横断自動車道宮城県側全区間開通</p> <p>第1回「影を慕いて」全国コンクール開催(青根分校体育館)</p> | <p>町が緑豊かな地域社会推進に尽力した功績により内閣総理大臣表彰</p> <p>6月 第1回全国縦断市民駅伝みちのく大会を国営みちのく杜の湖畔公園で開催</p> <p>富岡中学校新校舎・体育館完成</p> <p>8月 川崎中学校プール新築完成</p> <p>10月 富岡診療所・本砂金診療所廃止</p> | <p>1992 平成4年 人口：11109人</p> <p>2月 中央コミュニティセンター完成</p> <p>第1回町民文化祭開催</p> <p>川崎第二小学校体育館完成</p> <p>3月 古閑分館完成</p> <p>4月 県道宮城〜川崎線が国道457号に昇格</p> <p>16代議長に眞壁勇就任</p> <p>国土地理院の公表数値に基づき川崎町の面積が270.80km²となる</p> <p>6月 総合運動場にナイター照明設備完成</p> <p>第3回全国「みどりの愛護」のつどいが皇太子殿下を迎え国営みちのく杜の湖畔公園で開催</p> | <p>1993 平成5年 人口：11128人</p> <p>3月 川崎警察官派出所完成</p> <p>4月 富岡幼稚園開園</p> <p>8月 第1回川崎町支倉常長まつり開催、墓前祭とパレード</p> <p>9月 川内小学校新体育館完成</p> <p>10月 国営みちのく杜の湖畔公園にて「皇太子殿下御成婚記念植樹」</p> <p>この年異常低温により稲作大冷害</p> | <p>1994 平成6年 人口：11112人</p> <p>1月 町が町村自治の健全な発展を遂げた功績により全国町村会会長表彰</p> <p>3月 川崎小学校西校舎完成</p> <p>健康福祉センター完成</p> <p>本荒町コミュニティセンター完成</p> <p>前川西部集落センター完成</p> <p>支倉郷土文化伝承館完成</p> <p>4月 上水道支倉地区通水</p> <p>5月 支倉小学校校舎完成</p> |
|---|--|---|--|--|--|---|--|---|

1995~2005

【平成7~17年】

医療福祉センター「やすらぎの郷」がオープン

平成7年、地域の保健、医療、福祉がそれぞれ連携した地域ケアシステムの拠点として医療福祉センター「やすらぎの郷」が活動を開始しました。交流促進センター「るぼぼかわさき」の完成や、町民バスほんわか号の運行、また、現代版支倉常長遣欧使節団のイタリア訪問など、町民の暮らしを支える施設、サービスの充実と、国際交流の振興が進められました。平成13年には宮城国体(第56回国民体育大会)が開催され、川崎町ではゴルフ競技(夏季大会)と山岳(登はん)競技(秋季大会)が開催されました。



平成7年 医療福祉センター「やすらぎの郷」が完成

平成7~16年 川崎町の動き

1995 平成7年 人口…11066人

- 1月 立野地区集落センター完成
- 3月 医療福祉センター「やすらぎの郷」完成
- 5月 第11代町長に佐藤昭光就任
- 7月 柴田農林高等学校川崎分校が柴田農林高等学校川崎校となる

1996 平成8年 人口…11104人

- 3月 蟹沢用水改修工事竣工
- 4月 第17代議長に大山政治就任
- 5月 第1回滝前不動のフジまつり開催
- 8月 第1回「祝い船大会」開催
- 10月 青根温泉開湯450年祭開催
- 11月 交流促進センター「るぼぼかわさき」完成

1997 平成9年 人口…11185人

- 2月 柴田農林高等学校川崎校新校舎完成
- 第1回青根温泉雪あかり開催
- 12月 猪ノ沢地区連絡橋「ふれあい橋」完成

1998 平成10年 人口…11226人

- 1月 成人式をこの年から1月に開催
- 3月 ポートピア川崎完成
- 4月 釜房ダム水没者移転30周年のついで開催
- 川崎児童教室開設
- 9月 広報かわさき創刊300号号を迎える

1999 平成11年 人口…11286人

- 3月 地域振興券交付
- 5月 第12代町長に寛野秀雄就任
- 7月 第1回ふれあい川崎自然塾開催
- 11月 (株)かわさき振興公社設立
- 12月 町議会議員定数を18人と議決、次の選挙から実施

2000 平成12年 人口…11263人

- 4月 介護保険制度スタート
- 第18代議長に植野祐丞就任
- 10月 第12回「緑の都市賞」を医療福祉センター「やすらぎの郷」が受賞

- 平成6年 ●スペースシャトルに日本人初の女性飛行士向井千秋氏搭乗
- 平成7年 ●阪神・淡路大震災
●東京地下鉄サリン事件
- 平成8年 ●スペースシャトル「エンデバー」に若田光一氏搭乗
- 平成9年 ●秋田新幹線運行開始、長野新幹線「あさま」運行開始
●消費税が5%に引き上げ
- 平成10年 ●長野冬季オリンピック開幕
- 平成12年 ●三宅島の雄山が噴火、鳥取西部地震
- 平成13年 ●皇太子妃が内親王を出産
●米ニューヨーク・ワシントンで同時多発テロ
- 平成14年 ●サッカーW杯、日韓共同開催
- 平成15年 ●日本産トキが絶滅
●十勝沖地震
- 平成16年 ●新潟中越地震、スマトラ島沖地震が発生(M9.3)
- 平成17年 ●中部国際空港(セントレア)が開港
●日本国際博覧会「愛・地球博」が開幕



平成13年 町民バス「ほんわか号」が運行を開始



平成8年 交流促進センター「るぼわかわさき」が完成



平成13年 宮城国体

川崎町60年の あゆみ

2001 平成13年	人口: 111,751人	4月 町民バス(ほんわか号)運行開始 ひだまり公園が旧国保川崎病院跡地に完成 8月 第1回福祉のつどい開催 9月 第56回国民体育大会(ゴルフ競技)開催 10月 (登はん競技)開催
2002 平成14年	人口: 110,941人	4月 第19代議長に尾崎正人就任 5月 笹谷分校閉校記念式典開催 7月 台風6号が直撃(被害甚大) 12月 川崎小学校大規模改修、耐震工事了 第1回現代版支倉常長遣欧使節団がイタリア・ローマ県サンタマリネッラ市訪問
2003 平成15年	人口: 109,741人	3月 川崎幼稚園新園舎完成 大針分館完成 裏丁コミュニティセンター開所 4月 青根洋館移築完成 5月 第13代町長に寛野秀雄就任(2期目) 7月 エコキャンプみちのく開園 9月 サンタマリネッラ市の生徒が当町を訪問 10月 冷害で農作物に甚大な被害 12月 町議会議員定数を16人と議決、次の選挙から実施
2004 平成16年	人口: 108,771人	4月 仙南地区広域農道「コスモスライン」完成 第20代議長に丹野喜正就任
2005 平成17年	人口: 108,331人	3月 町道みちのく公園線完成 町道北向釜房線完成 山村開発センターにエレベーター設置 青根温泉足湯2カ所完成 8月 8・16宮城地震が発生 M7.2 川崎町で震度6弱を記録 9月 川崎中学校体育館大規模改修、耐震工事了 10月 合併50周年記念町民親睦体育祭開催

2006~2015

【平成18年~27年】

イベント、PRキャラクターで 川崎町を全国発信 — 町村合併60周年 —

平成18年、東北を代表する大規模な野外音楽フェスティバル「第1回アラバキロックフェスティバル」がエコキャンプみちのくを会場に実施されました。川内太鼓が平成18年第1回から、また、川崎中学校吹奏楽部が平成23年から参加しています。

平成25年は、支倉常長渡航400周年にあたる年で、その偉業を称え、第20回支倉常長まつりを開催しました。また、同年、川崎町の公式PRキャラクターに「チョコえもん」を任命しました。「チョコえもん」は、町内外のさまざまなイベント会場で活動し、川崎町を大きくPRしています。



平成27年
アラバキロックフェスティバルの様子

平成18~27年 川崎町の動き

2006 平成18年 人口：10719人

4月 青根公衆浴場「じゃつぽの湯」が開設され、指定管理者で実施

9月 セントメリースキー場指定管理者で実施
交流促進センター「るぼわかわさき」指定管理者で実施
第1回アラバキロックフェスティバル開催

2007 平成19年 人口：10556人

1月 広報かわさき創刊400号を迎える

4月 上楯城交流施設完成

5月 第14代町長に佐藤昭光就任(2期目)

9月 町議会議員定数を14人と議決、次の選挙から実施

12月 川崎町長老に寛野秀雄(第2号)を推挙

2008 平成20年 人口：10431人

4月 第21代議長に沼田善春就任

6月 岩手・宮城内陸地震が発生 M7.2 川崎町で震度5弱を記録

2009 平成21年 人口：10284人

5月 国営みちのくの湖畔公園入場者累計1000万人達成

8月 碁石児童教室開設

2010 平成22年 人口：10148人

1月 レインボー川崎営業開始

ぱびハウス営業開始

4月 かわさきこども園開園
今宿児童教室開設

2011 平成23年 人口：10046人

3月 東日本大震災が発生 日本の観測史上過去最大M9.0

5月 川崎町で震度6強を記録(被害深刻)

人口が1万人を割る(人口9993人、世帯数3264世帯)

7月 川内北川コミュニティセンター開所

- 平成18年 ● 第一回ワールド・ベースボール・クラシック(WBC)で日本代表が初代王者
- 平成19年 ● 郵政民営化スタート
- 平成20年 ● リーマン・ブラザーズが経営破たん(リーマン・ショック)
- 平成21年 ● アメリカ合衆国、バラク・オバマ大統領就任
- 平成22年 ● ハイチで大地震発生(M7.0)死者31万人以上
● 尖閣諸島付近で中国漁船が海上保安庁巡視船に衝突
- 平成23年 ● 東日本大震災・福島第一原子力発電所事故発生
● 地上デジタル放送開始
- 平成24年 ● 東京スカイツリー開業
- 平成25年 ● 富士山が世界遺産に登録
● 東北楽天イーグルス、パリーグ・日本シリーズ初優勝
- 平成26年 ● 消費税が8%に引き上げ
● 御嶽山噴火、死者58人、行方不明者7人
- 平成27年 ● 蔵王山で火山性地震が群発し噴火警報発令
● 仙台市で第3回国際連合防災世界会議開催



平成23年 東日本大震災が発生



平成26年
国営みちのく杜の湖畔公園
里山地区が完成



平成25年 9.1宮城県総合防災訓練

川崎町60年のあゆみ

常長の遺志を継ぐ
川崎キャラクター
「チョコネもん」



- 8月 第15代町長に小山修作就任
- 2012 平成24年** 人口: 9845人
- 2月 東日本大震災による石巻市民の二次避難者受け入れにより、地域づくり総務大臣賞受賞
- 4月 第22代議長に大浪俊憲就任
碓石小学校、川内小学校、支倉小学校 前川小学校 青根分校が開校
スクールバス運行開始
- 2013 平成25年** 人口: 9680人
- 3月 町の公式PRキャラクター「チョコネもん」を任命
- 6月 支倉常長渡航400周年記念 支倉常長まつり開催
- 7月 大河原消防署川崎出張所 新築建替え
- 9月 9・1宮城県総合防災訓練を川崎町総合運動場で開催
- 2014 平成26年** 人口: 9525人
- 2月 記録的な大雪による交通混乱と甚大な被害(1日の積雪量約70センチ)
- 4月 前川児童教室開設
- 6月 国営みちのく杜の湖畔公園全園開園
- 11月 青根駐在所新築移転
- 2015 平成27年** 人口: 9373人
- 3月 国土地理院の公表数値に基づき川崎町の面積が270.77km²となる
青根温泉「不忘閣」が国の登録有形文化財(建築物)に登録
- 4月 蔵王山で火山性地震が群発し噴火警報発令
- 6月 広報かわさき創刊500号を迎える
- 8月 第16代町長に小山修作就任(2期目)
- 9月 台風18号による大雨で避難勧告を発令(延べ43人が避難)

60th
KAWASAKI

宮城県

川崎町

緑と人をはぐくむ里
川崎町

町村合併60周年記念誌

企 画

宮城県川崎町

〒989-1592 宮城県柴田郡川崎町大字前川字町裏丁175-1
TEL.0224-84-2111 FAX.0224-84-6789

制 作

今野印刷株式会社